

報道関係者 各位

【照会先】  
長野労働局労働基準部健康安全課  
課長 小林 弦太  
健康安全主任 鎌倉 博史  
TEL：026-223-0554

## 転ばぬ先の「靴選び」と「凍結防止」を！ ～ 1月は転倒による労働災害リスクが2.4倍～

長野県内における労働災害については、休業4日以上死傷者数を季節別に見ると、冬季に増加し、とりわけ1月は、災害による労働災害が11～3月平均の2.4倍と多発しています。交通事故による労働災害も12月が最多となっています。

こうしたことから、長野労働局（局長：小野寺 喜一）では、本年は『転ばぬ先の「靴選び」と「凍結防止」を』をスローガンに定め、転倒災害をはじめとした冬季特有の労働災害防止を推進するため、今般、長野県内の業界団体等に対して、各事業場等における対策の実施について要請いたしました。

あわせて、長野労働局HPにおいて、本年度も「冬季労働災害防止特設コーナー」においてこれらの対策について、広く県内の働く方と事業者呼びかけています。

積雪や凍結による「転倒」をはじめ、交通事故や「墜落・転落」といった災害を防止するため、長野労働局が公表している「冬季における労働災害対策」に沿って冬季でも安心・安全に働ける職場を築き、厳しい冬を乗り越えましょう。

### < 主な冬季労働災害防止対策 >

#### 1 積雪や凍結による転倒災害の防止対策

入室時における靴裏の雪・水分の除去、「ながら歩き」や走っての移動等の危険行動の禁止、滑りにくい靴の着用等について、労働者に対して注意喚起等を行うこと  
融雪剤の散布、ヒートマットや温風機の設置、夜間の照明、「危険マップ」の作成等、設備・装備等を整備すること など

#### 2 路面の凍結によるスリップ事故（交通事故）による災害の防止対策

冬用タイヤの摩耗状態を点検し、降雪前に早めに装着すること  
スリップ防止のための安全運転に関する教育を行うこと など

#### 3 除雪作業中の「墜落・転落」などの災害防止対策

ヘルメットや墜落制止用器具を適切に使用すること  
屋根を踏み抜くおそれがある個所には、歩み板を設けること など

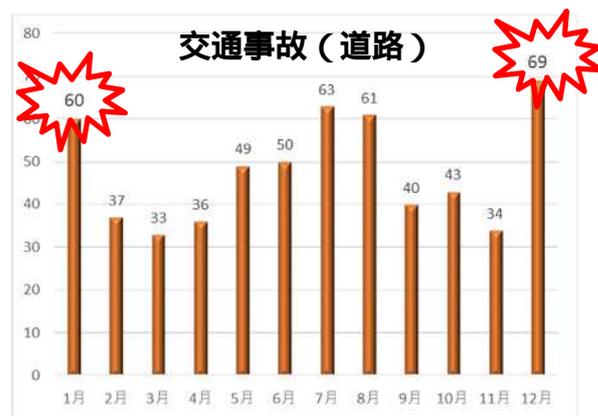
その他、高年齢労働者の安全衛生確保対策や屋外現場に関する防止対策、一酸化炭素中毒予防対策などを適切に実施しましょう。

# STOP！ 冬季労働災害

～ 転ばぬ先の「靴選び」と「凍結防止」を～

冬季には、降雪、凍結等を要因とする転倒、墜落、交通事故等多発し、特に1月の転倒災害発生リスクは、3～11月平均の2.4倍です。また、令和4年1、2月には2名の方が労働災害により命を落としました。

月別の労働災害発生状況（過去5年間合計）



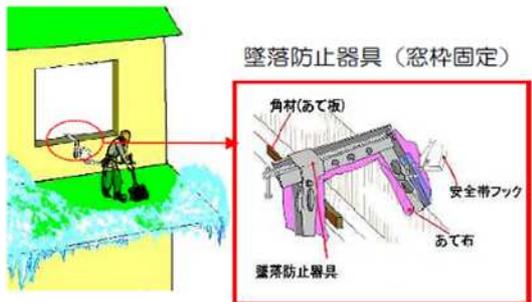
令和4年10月31日までに把握した労働者死傷病報告調べ。  
死亡又は休業4日以上労働災害（単位：人）  
平成29年4月1日～令和4年3月31日発生

## 冬季労働災害による死亡事例

|                     |   |
|---------------------|---|
| 平成27年<br>その他の<br>事業 | 高さ約4メートルの屋根の雪おろしをするため、はしごを登っていたところ、はしごが滑って倒れ、 <b>転落し死亡</b> 。  |
| 令和4年<br>旅館業         | 建物屋根の雨水、雪解け水を排水するための水路にできた氷柱（長さ約3～4m。以下「つらら」という。）をハンマーで叩いて撤去していたところ、 <b>崩れたつららの下敷きとなり死亡</b> 。             |
| 令和4年<br>その他の<br>卸売業 | 工場屋根に積もった雪が垂れ下がって、大きな雪庇（せっぴ）ができ、建築物の一部を損壊するおそれがあったため、被災者は、雪庇を落とす準備作業を行っていたところ、 <b>雪庇が落下し、その下敷きになり死亡</b> 。 |

- ポイント 転倒災害の防止（例：凍結防止、滑りにくい靴）
- ポイント 交通事故の防止（例：冬用タイヤの早め装着・磨耗状態点検）
- ポイント 除雪時等の災害防止（例：屋根上での墜落制止用器具の使用）

窓枠固定用の金具を使用した  
除雪時の墜落防止対策の例



事務所出入口の  
ヒートマットの  
設置例



詳しい情報・対策の  
ポイントはこちら



長野労働局  
「冬季労働災害防  
止特設コーナー」

